

本資料のうち、枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

女川原子力発電所第2号機 工事計画審査資料	
資料番号	02-工-A-04-0021_改0
提出年月日	2021年6月15日

工事計画に係る説明資料

原子炉冷却系統施設のうち原子炉補機冷却設備

(3.8.1 原子炉補機冷却水系（原子炉補機冷却海水系を含む。))

(本文)

2021年6月

東北電力株式会社

申請範囲

3. 原子炉冷却系統施設
 - 3.8 原子炉補機冷却設備
 - 3.8.1 原子炉補機冷却水系（原子炉補機冷却海水系を含む。）
 - (2) 熱交換器（常設）
 - ・原子炉補機冷却水系熱交換器
 - (3) ポンプ（常設）
 - ・原子炉補機冷却水ポンプ
 - ・原子炉補機冷却海水ポンプ
 - (5) 容器（常設）
 - ・原子炉補機冷却水サージタンク
 - (6) ろ過装置（常設）
 - ・原子炉補機冷却海水系ストレーナ
 - (9) 主配管（常設）

3.8 原子炉補機冷却設備

3.8.1 原子炉補機冷却水系（原子炉補機冷却海水系を含む。）

(2) 熱交換器（常設）

名 称			変 更 前		変 更 後	
			原子炉補機冷却水系熱交換器			
			(A), (C)	(B), (D)		
種 類	—		横置直管式			
容 量（設計熱交換量）	MW/個		□以上* ¹ (17.3* ² , * ³)			
管 側	最 高 使 用 圧 力	MPa	0.78* ³			
	最 高 使 用 温 度	℃	50			
胴 側	最 高 使 用 圧 力	MPa	1.18* ³			
	最 高 使 用 温 度	℃	70			
伝 熱 面 積	m ² /個		□以上* ¹ (□* ²)			
主 要 寸 法	管 側	胴 内 径* ⁴	mm	1800* ²		変更なし
		胴 板 厚 さ* ⁵	mm	□* ⁶ (15.0* ²)		
		鏡 板 厚 さ* ⁷	mm	□* ⁶ (15.0* ²)		
		鏡板の形状に係る寸法	mm	1800.0* ² , * ⁶ (鏡板の内面における長径)		
				450.0* ² , * ⁶ (鏡板の内面における短径の2分の1)		
		平 板 厚 さ* ⁸	mm	□* ⁶ (143.0* ²)		
		管台外径（水室入口）	mm	508.0* ² , * ⁶		
		管台厚さ（水室入口）	mm	□* ⁶ (9.5* ² , * ⁶)		
		管台外径（水室出口）	mm	508.0* ² , * ⁶		
		管台厚さ（水室出口）	mm	□* ⁶ (9.5* ² , * ⁶)		
		胴 フ ラ ン ジ 厚 さ	mm	□* ⁶ (90.0* ¹ , * ²)		
		マンホール外径	mm	508.0* ² , * ⁶		
		マンホール厚さ	mm	□* ⁶ (9.5* ² , * ⁶)		
		マンホール平板厚さ	mm	□* ⁶ (35.0* ² , * ⁶)		
胴 側	胴 内 径* ⁹	mm	1800* ²			
	胴 板 厚 さ* ¹⁰	mm	□* ⁶ (15.0* ²)			
	管台外径（胴体入口）	mm	457.2* ² , * ⁶			
	管台厚さ（胴体入口）	mm	□* ⁶ (9.5* ² , * ⁶)			
	管台外径（胴体出口）	mm	457.2* ² , * ⁶			
	管台厚さ（胴体出口）	mm	□* ⁶ (9.5* ² , * ⁶)			
管 板 厚 さ	mm	□* ⁶ (95.0* ²)				

(次頁へ続く)

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(前頁からのつづき)

				変更前		変更後	
主要寸法	伝熱管外径	mm		□*2		変更なし	
	伝熱管厚さ	mm		□*6(□*2)			
	全長	mm		9100*2			
材側	管	胴板	—	SM50B			
		鏡板	—	SM50B			
		平板	—	SGV49			
		胴フランジ	—	SGV49*6			
	胴側	胴板	—	SM50B			
	管板	—	SGV49				
	伝熱管	—	C6870TS				
個数	—	4					
取付箇所	系統名 (ライン名)	—	原子炉補機冷却水系熱交換器(A)(C) 原子炉補機冷却水系A系	原子炉補機冷却水系熱交換器(B)(D) 原子炉補機冷却水系B系	*1	*1	
	設置床	—	原子炉建屋 O.P.-8.10m	原子炉建屋 O.P.-8.10m	*1	*1	
	溢水防護上の区画番号	—	—				
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—					

注記*1：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*2：公称値を示す。

*3：S I 単位に換算したものである。

*4：記載の適正化を行う。既工事計画書には「水室内径」と記載。

*5：記載の適正化を行う。既工事計画書には「水室胴部厚さ」と記載。

*6：既工事計画書に記載がないため、記載の適正化を行う。記載内容は、平成3年6月19日付け3資庁第1003号にて認可された工事計画の添付書類「IV-2-1-7-1 原子炉補機冷却水系熱交換器の強度計算書」による。

*7：記載の適正化を行う。既工事計画書には「水室鏡板厚さ」と記載。

*8：記載の適正化を行う。既工事計画書には「水室平板厚さ」と記載。

*9：記載の適正化を行う。既工事計画書には「胴体内径」と記載。

*10：記載の適正化を行う。既工事計画書には「胴体厚さ」と記載。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(3) ポンプ (常設)

			変 更 前		変 更 後		
名 称			原子炉補機冷却水ポンプ				
			(A), (C)		(B), (D)		
ポ ン プ	種 類	—	うず巻形			変更なし	
	容 量 ^{*1}	m ³ /h/個	□以上 ^{*2} (1400 ^{*3})				
	揚 程 ^{*4}	m	□以上 ^{*2} (44 ^{*3})				
	最 高 使 用 圧 力	MPa	1.18 ^{*2}				
	最 高 使 用 温 度	℃	70 ^{*2}				
	主 要 寸 法	吸 込 内 径	mm	438 ^{*2, *3}			
		吐 出 内 径	mm	387 ^{*2, *3}			
		ケ ー シ ン グ 厚 さ	mm	□ ^{*2} (16 ^{*2, *3})			
		た て	mm	1400 ^{*2, *3}			
	高 さ	横	mm	1630 ^{*2, *3}			
		高	mm	1460 ^{*3, *5}			
	材 料	ケ ー シ ン グ	—	□			
	個 数	—	4				
	取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—	原子炉補機冷却水ポンプ(A)(C) 原子炉補機冷却水系A系 ^{*2}	原子炉補機冷却水ポンプ(B)(D) 原子炉補機冷却水系B系 ^{*2}		
設 置 床		—	原子炉建屋 O. P. -8. 10m ^{*2}	原子炉建屋 O. P. -8. 10m ^{*2}			
溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—	—		R-B3F-11		
		—			R-B3F-14		
原 動 機	種 類	—	誘導電動機			変更なし	
	出 力	kW/個	235				
	個 数	—	4				
	取 付 箇 所	—	ポンプと同じ ^{*2}				

注記*1 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「定格容量」と記載。

*2 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*3 : 公称値を示す。

*4 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「定格揚程」と記載。

*5 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成3年6月19日付け3資庁第1003号にて認可された工事計画の添付書類「第3-7-8図 原子炉補機冷却水ポンプ構造図」による。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

			変 更 前		変 更 後		
名 称			原子炉補機冷却海水ポンプ				
			(A), (C)		(B), (D)		
ボ ン プ	種 類	—	ターボ形				
	容 量 ^{*1}	m ³ /h/個	□以上 ^{*2} (1900 ^{*3})				
	揚 程 ^{*4}	m	□以上 ^{*2} (47 ^{*3})				
	最 高 使 用 圧 力	MPa	0.78 ^{*2}				
	最 高 使 用 温 度	℃	50 ^{*2}				
	主 要 寸 法	吸 込 内 径	mm	466 ^{*2, *3}			
		吐 出 内 径	mm	487 ^{*2, *3}			
		コ ラ ム 外 径	mm	634 ^{*2, *3}			
		コ ラ ム 厚 さ	mm	□ ^{*2} (12 ^{*2, *3})			
		高 さ	mm	15400 ^{*3, *5}			
	材 料	ケ ー シ ン グ	□				
	個 数	—	4				
	取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—	原子炉補機冷却海水ポンプ(A)(C) 原子炉補機冷却海水系A系 ^{*2}		原子炉補機冷却海水ポンプ(B)(D) 原子炉補機冷却海水系B系 ^{*2}	
		設 置 床	—	海水ポンプ室 ^{*2} O. P. 3. 00m		海水ポンプ室 ^{*2} O. P. 3. 00m	
溢水防護上の区画番号		—	—				
溢水防護上の 配慮が必要な高さ		—	—		SW-1F-2	SW-1F-5	
原 動 機	種 類	—	誘導電動機				
	出 力	kW/個	420				
	個 数	—	4				
	取 付 箇 所	—	ポンプと同じ ^{*2}				
					変更なし	変更なし	
					変更なし	変更なし	
					ポンプと同じ	ポンプと同じ	

注記*1 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「定格容量」と記載。

*2 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*3 : 公称値を示す。

*4 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「定格揚程」と記載。

*5 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成3年6月19日付け3資庁第1003号にて認可された工事計画の添付書類「第3-7-9図 原子炉補機冷却海水ポンプ構造図」による。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(5) 容器 (常設)

			変 更 前* ¹		変 更 後	
名 称			原子炉補機冷却水サージタンク		原子炉補機冷却水サージタンク* ²	
			(A)	(B)	(A)	(B)
種 類	—		たて置円筒形		変更なし	
容 量	m ³ /個		□以上(14.0* ³)		変更なし □以上* ⁴	
最 高 使 用 圧 力	MPa		静水頭			
最 高 使 用 温 度	℃		70			
主 要 寸 法	胴 内 径	mm	2500* ³			
	胴 板 厚 さ	mm	□(9.0* ³)			
	底 板 厚 さ	mm	□(15.0* ³)			
	平 板 (屋 根) 厚 さ	mm	□(9.0* ³)			
	管 台 外 径 (液 出 口)	mm	318.5* ³			
	管 台 厚 さ (液 出 口)	mm	□(10.3* ³)			
	高 さ	mm	3171* ³		変更なし	
材 料	胴 板	—	SM400B			
	底 板	—	SM400B			
個 数	—	2				
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—	原子炉補機冷却水サージタンク(A) 原子炉補機冷却水系A系	原子炉補機冷却水サージタンク(B) 原子炉補機冷却水系B系		
	設 置 床	—	原子炉建屋 O. P. 33. 20m	原子炉建屋 O. P. 33. 20m		
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—	—			
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—	—			

注記*1 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*2 : 原子炉補機冷却設備 (原子炉補機代替冷却水系) と兼用。

*3 : 公称値を示す。

*4 : 重大事故時における、原子炉補機冷却設備 (原子炉補機代替冷却水系) で使用する場合の値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(6) ろ過装置 (常設)

			変更前		変更後									
名	称	原子炉補機冷却海水系ストレーナ				変更なし								
		(A), (C)		(B), (D)										
種	類	—	横置円筒形											
容	量	m ³ /h/個	□以上*1 (1900*2)											
最	高	使用	圧	力	MPa		0.78*3							
最	高	使用	温	度	℃		50							
主	要	寸	胴	内	径		mm	872*2						
			胴	板	厚		さ	mm	□*4 (19.0*2)					
			平	板	厚		さ	mm	□*4 (85.0*2)					
			ふ	た	板		厚	さ	mm	□*4 (12.0*2)				
			管	台	外	径	(海水入口)	mm	675.0*2,*4					
			管	台	厚	さ	(海水入口)	mm	□*4 (95.5*2,*4)					
			管	台	外	径	(海水出口)	mm	508.0*2,*4					
			管	台	厚	さ	(海水出口)	mm	□*4 (12.0*2,*4)					
材	料	全	長	mm	1330*2									
		胴	板	—	SM400C*5									
		平	板	—	SFVC2B									
ふ	た	板	—	SM400C*5										
個	数	—	4											
取	付	箇	系	統	名	—	*1	*1						
			(ラ	イ	ン	名	原子炉補機冷却海水系ストレーナ(A)(C)	原子炉補機冷却海水系ストレーナ(B)(D)					
			設	置	床	—	*1	*1						
所	溢	水	防	護	上	の	区	画	番	号	—			
	溢	水	防	護	上	の	配	慮	が	必	要	な	高	さ

注記*1 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*2 : 公称値を示す。

*3 : S I 単位に換算したものである。

*4 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成3年6月19日付け3資庁第1003号にて認可された工事計画の添付書類「IV-2-1-7-2 原子炉補機冷却海水系ストレーナの強度計算書」による。

*5 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「SM41C」と記載。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(9) 主配管 (常設)

変更前						変更後							
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料		
*3 原子炉補機冷却水サージタンク (A) ～ 原子炉補機冷却水サージタンク (A) 出口配管合流点	—					*5 原子炉補機冷却水サージタンク (A) ～ 原子炉補機冷却水サージタンク (A) 出口配管合流点	*6	*6	*6, *7, *8	*6, *7, *8	*6, *7, *8	*6, *7, *8 STS42 STS410	
	1.18 *4	70	318.5	(10.3)	STS42 STS410		変更なし						
*9 原子炉補機冷却水サージタンク (A) 出口配管合流点 ～ 原子炉補機冷却水ポンプ (A), (C)	—					*6 原子炉補機冷却水ポンプ (A), (C)	*6	*6	*6, *7	*6, *7	*6, *7	*6, *7 SM41C	
	1.18 *4	70	609.6	□ *10 (17.5)	SM41C		変更なし						
	—						*6 1.18	*6 70	*6, *7 609.6 / 609.6 / 457.2	*6, *7 □ (9.5) / □ (9.5) / □ (9.5)	*6, *7 SM41C	変更なし	
	1.18 *4	70	609.6	□ *10 (9.5)	SM41C							変更なし	
	—											*6 1.18	*6 70
	1.18 *4	70	457.2	□ *10 (9.5)	SM41C		変更なし						
—					*6 1.18	*6 70	*6, *7, *8 457.2	*6, *7, *8 □ (9.5)	*6, *7, *8 SM41C	変更なし			
—										*6 1.18	*6 70	*6, *7, *8 406.4	*6, *7, *8 □ (9.5)
*11 原子炉補機冷却水ポンプ (A), (C) ～ 原子炉補機冷却水系熱交換器 (A), (C)	—					*6 1.18	*6 70	*6, *7 609.6 / 406.4 / *6, *7, *8 609.6	*6, *7 □ (9.5) / □ (9.5) / □ (9.5)	*6, *7 SM41C	変更なし		
	1.18 *4	70	406.4	□ *10 (9.5)	SM41C						変更なし		
	—										*6 1.18	*6 70	*6, *7, *8 609.6
1.18 *4	70	609.6	□ *10 (9.5)	SM41C	変更なし								
(次頁へ続く)	1.18 *4	70	609.6	□ *10 (17.5)	SM41C	(次頁へ続く)							

O 2 ① II R 0

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

変 更 前						変 更 後							
名 称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ*2 (mm)	材 料	名 称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ*2 (mm)	材 料		
(前頁からの続き) 原子炉補機冷却水ポンプ (A), (C) ～ 原子炉補機冷却水系熱交換器 (A), (C)	—					変更なし	1.18	70	*6, *7 609.6	*6, *7 □ (9.5)	*6, *7 SM41C		
	—								*6, *7 609.6	*6, *7 □ (9.5)	*6, *7 SM41C		
	1.18 *4	70	457.2	□ *10 (9.5)	SM41C				変更なし				
	—								*6 1.18	*6 70	*6, *7, *8 457.2	*6, *7, *8 □ (9.5)	*6, *7, *8 SM41C
	1.18 *4	70	406.4	□ *10 (12.7)	SM41C				変更なし				
原子炉補機冷却水系 *12 原子炉補機冷却水系熱交換器 (A), (C) ～ 残留熱除去系熱交換器(A)入口 配管合流点	—					原子炉補機冷却水系 変更なし	1.18	70	*6, *7 609.6	*6, *7 □ (9.5)	*6, *7 SM41C		
	—								*6, *7, *8 457.2	*6, *7, *8 □ (9.5)	*6, *7, *8 SM41C		
	1.18 *4	70	457.2	□ *10 (9.5)	SM41C				*6, *7 609.6	*6, *7 □ (9.5)	*6, *7 SM41C		
	—								*6, *7 609.6	*6, *7 □ (9.5)	*6, *7 SM41C		
	1.18 *4	70	609.6	□ *10 (9.5)	SM41C				変更なし				
(次頁へ続く)	—					1.18	70	*6, *7, *8 609.6	*6, *7, *8 □ (9.5)	*6, *7, *8 SM41C			
—					*6, *7 609.6			*6, *7 □ (9.5)	*6, *7 SM41C				
—					*6, *7 609.6			*6, *7 □ (9.5)	*6, *7 SM41C				

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

変 更 前						変 更 後					
名 称	最高使用 圧 (MPa)	最高使用 温 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ*2 (mm)	材 料	名 称	最高使用 圧 (MPa)	最高使用 温 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ*2 (mm)	材 料
(前頁からの続き) 原子炉補機冷却水系熱交換器 (A), (C) ～ 残留熱除去系熱交換器 (A) 入口配管合流点	—					(前頁からの続き) 変更なし	*6 1.18	*6 70	*6,*7 609.6 / / 609.6	*6,*7 □ (9.5) / / □ (9.5)	*6,*7 SM41C
	1.18 *4	70	609.6	□ *10 (17.5)	SM41C		変更なし				
	—						*6 1.18	*6 70	*6,*7 609.6 / 508.0	*6,*7 □ (9.5) / □ (9.5)	*6,*7 SM41C
	1.18 *4	70	508.0	□ *10 (9.5)	SM41C*13 SM400C		変更なし				
	—						*6,*7,*8 508.0		*6,*7,*8 □ (9.5)	*6,*7,*8 SM41C	
原子炉補機冷却水系 残留熱除去系熱交換器 (A) 入口配管合流点 ～ 残留熱除去系熱交換器 (A)	—					*6 1.18	*6 70	*6,*7 508.0 / 508.0 / 508.0	*6,*7 □ (9.5) / □ (9.5) / □ (9.5)	*6,*7 SM400C	
	1.18 *4	70	406.4	□ *10 (9.5)	SM400C*13	*6,*7 508.0 / 406.4		*6,*7 □ (9.5) / □ (9.5)	*6,*7 STS410		
	—					変更なし					
*12 残留熱除去系熱交換器 (A) 入口配管合流点 ～ 残留熱除去系熱交換器 (A)	—					*6 1.18	*6 70	*6 406.4 / 406.4 / 216.3	*6 □ (9.5) / □ (9.5) / □ (8.2)	*6 SM400C	
(次頁へ続く)	1.18 *4	70	406.4	□ *10 (9.5)	SM400C*13	変更なし					
	—					*6,*7,*8 406.4		*6,*7,*8 □ (9.5)	*6,*7,*8 SM400C		
	—					*6 1.18	*6 70	*6,*7 406.4 / 406.4 / —	*6,*7 □ (9.5) / □ (9.5) / —	*6,*7 SM400C	

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

変更前						変更後								
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料			
(前頁からの続き) 残留熱除去系熱交換器(A) 入口配管合流点 ～ 残留熱除去系熱交換器(A)	—					(前頁からの続き) 残留熱除去系熱交換器(A) 入口配管合流点 ～ 残留熱除去系熱交換器(A)	*6 1.18	*6 70	*6,*7 406.4	*6,*7 (9.5)	*6,*7 —	*6,*7 STS410		
	1.18 *4	70	355.6	(11.1)	STS410 *14		変更なし							
*9 残留熱除去系熱交換器(A) ～ 残留熱除去系熱交換器(A) 出口配管分岐点	—					*5 残留熱除去系熱交換器(A) ～ 残留熱除去系熱交換器(A) 出口配管分岐点	*6 1.18	*6 70	*6,*7,*8 355.6	*6,*7,*8 (11.1)	*6,*7,*8 —	*6,*7,*8 STS410		
	1.18 *4	70	355.6	(11.1)	STS42 *14 STS410		変更なし							
	—						*6 1.18	*6 70	*6,*7 406.4 /	*6,*7 (9.5) /	*6,*7 —	*6,*7 STS410		
	1.18 *4	70	406.4	□ *10 (9.5)	SM400C *13		変更なし							
*9 残留熱除去系熱交換器(A) 出口配管分岐点 ～ 原子炉補機冷却水サージタンク(A) 出口配管合流点 (次頁へ続く)	—					*6 1.18	*6 70	*6,*7 406.4	*6,*7 (9.5)	*6,*7 □	*6,*7 —	*6,*7 SM400C		
	—							*6,*7,*8 406.4	*6,*7,*8 (9.5)	*6,*7,*8 □	*6,*7,*8 —	*6,*7,*8 SM400C		
	—							*6 406.4	*6 /	*6 (9.5)	*6 □	*6 —	*6 SM400C	
	—							*6 406.4	*6 /	*6 (9.5)	*6 □	*6 —	*6 SM400C	
—					変更なし					*6,*7 216.3	*6,*7 (8.2)	*6,*7 —		
*9 残留熱除去系熱交換器(A) 出口配管分岐点 ～ 原子炉補機冷却水サージタンク(A) 出口配管合流点 (次頁へ続く)	—					*5 残留熱除去系熱交換器(A) 出口配管分岐点 ～ 原子炉補機冷却水サージタンク(A) 出口配管合流点 (次頁へ続く)	変更なし					*6,*7 508.0	*6,*7 (9.5)	*6,*7 —
	—						*6 1.18	*6 70	*6,*7 508.0 /	*6,*7 (9.5) /	*6,*7 □	*6,*7 —	*6,*7 STS410	
—					*6 1.18	*6 70	*6,*7 508.0 /	*6,*7 (9.5) /	*6,*7 □	*6,*7 —	*6,*7 SM400C			
—					*6 1.18	*6 70	*6,*7 508.0 /	*6,*7 (9.5) /	*6,*7 □	*6,*7 —	*6,*7 SM400C			

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

変更前						変更後							
名 称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ*2 (mm)	材 料	名 称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ*2 (mm)	材 料		
原子炉補機冷却水系	*19 原子炉補機冷却水系熱交換器(A), (C)出口配管分岐点1 ～ P42-F091A	1.18 *4	70	406.4	<input type="text" value=""/> ^{*10} (12.7)	SM41C	原子炉補機冷却水系					変更なし	
				406.4	<input type="text" value=""/> ^{*10} (9.5)	SM41C							
				318.5	(10.3)	STS42							
	*19 P42-F091A ～ 原子炉冷却材浄化系非再生熱交換器(A)	1.18 *4	70	406.4	<input type="text" value=""/> ^{*10} (9.5)	SM41C							変更なし*20
				267.4	(9.3)	STPT38							
				216.3	(8.2)	STPT38							
	*19 原子炉冷却材浄化系非再生熱交換器(A)連絡管	1.18 *4	85	216.3	(8.2)	STPT38							変更なし*20
	*21 原子炉冷却材浄化系非再生熱交換器(A) ～ P42-F092A	1.18 *4	70	216.3	(8.2)	STPT38*22 STPT370							変更なし*20
				267.4	(9.3)	STPT38							
				355.6	(11.1)	STPT38							
				355.6	<input type="text" value=""/> ^{*10} (11.1)	SM41C							
*23 原子炉冷却材浄化系非再生熱交換器(A)入口配管分岐点 ～ 床ドレン・化学廃液蒸発濃縮装置復水器	1.18 *4	70	267.4	(9.3)	STPT38*22 STPT370	変更なし*20							
			165.2	(7.1)	STPT38								
*24 床ドレン・化学廃液蒸発濃縮装置復水器 ～ 原子炉冷却材浄化系非再生熱交換器(A)出口配管合流点	1.18 *4	70	165.2	(7.1)	STPT38	変更なし*20							
			267.4	(9.3)	STPT38*22 STPT370								
*21 P42-F092A ～ 原子炉補機冷却水ポンプ(A), (C)入口配管合流点3	1.18 *4	70	406.4	<input type="text" value=""/> ^{*10} (9.5)	SM41C	変更なし							

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

変 更 前						変 更 後					
名 称	最高使用 圧 (MPa)	最高使用 度 温 (℃)	外 径*1 (mm)	厚 さ*2 (mm)	材 料	名 称	最高使用 圧 (MPa)	最高使用 度 温 (℃)	外 径*1 (mm)	厚 さ*2 (mm)	材 料
(前頁からの続き) 原子炉補機冷却水ポンプ (B), (D) ～ 原子炉補機冷却水系熱交換 器(B), (D)	—					変更なし	1.18	70	*6, *7 609.6 /	*6, *7 (9.5)	*6, *7 SM41C
	1.18 *4	70	457.2	□ *10(9.5)	SM41C				*6 609.6 /	*6 70	
原子炉補機冷却水系 原子炉補機冷却水系熱交換 器(B), (D) ～ 残留熱除去系熱交換器(B)入 口配管合流点	1.18 *4	70	457.2	□ *10(9.5)	SM41C*13 SM400C	変更なし					
	—					原子炉補機冷却水系	1.18	70	*6, *7, *8 457.2 /	*6, *7, *8 (9.5)	*6, *7, *8 SM41C SM400C
1.18 *4	70	609.6	□ *10(9.5)	SM41C	*6, *7 609.6 /				*6 70	*6, *7 609.6 /	*6, *7 (9.5)
(次頁へ続く)	—					変更なし	1.18	70	*6, *7, *8 609.6 /	*6, *7, *8 (9.5)	*6, *7, *8 SM41C
—					*6, *7 609.6 /				*6 70	*6, *7 609.6 /	*6, *7 (9.5)
—					原子炉補機冷却水系	1.18	70	—	—	—	
—								*6, *7 609.6 /	*6 70	*6, *7 609.6 /	*6, *7 (9.5)

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

変 更 前						変 更 後					
名 称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ*2 (mm)	材 料	名 称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ*2 (mm)	材 料
原子炉補機冷却水系 原子炉補機冷却水系 原子炉補機冷却水系 原子炉補機冷却水系 原子炉補機冷却水系 原子炉補機冷却水系 原子炉補機冷却水系 原子炉補機冷却水系 原子炉補機冷却水系 原子炉補機冷却水系	(前頁からの続き)					(前頁からの続き)					
	—	—	—	—	—	1.18 ^{*6}	70 ^{*6}	609.6 ^{*6,*7}	□ (9.5) ^{*6,*7}	SM41C ^{*6,*7}	
	1.18 ^{*4}	70	609.6	□ ^{*10} (17.5)	SM41C	変更なし					
	—	—	—	—	—	1.18 ^{*6}	70 ^{*6}	609.6 ^{*6,*7}	□ (9.5) ^{*6,*7}	SM41C ^{*6,*7}	
	1.18 ^{*4}	70	508.0	□ ^{*10} (9.5)	SM41C ^{*13} SM400C	変更なし					
	—	—	—	—	—	1.18 ^{*6}	70 ^{*6}	508.0 ^{*6,*7,*8}	□ (9.5) ^{*6,*7,*8}	SM400C ^{*6,*7,*8}	
	—	—	—	—	508.0 ^{*6,*8}			□ (9.5) ^{*6,*8}	STS410 ^{*6,*8}		
	—	—	—	—	508.0 ^{*6}			□ (9.5) ^{*6}	STS410 ^{*6}		
	—	—	—	—	508.0 ^{*6}			□ (9.5) ^{*6}	STS410 ^{*6}		
	—	—	—	—	508.0 ^{*6}			□ (9.5) ^{*6}	STS410 ^{*6}		
—	—	—	—	508.0 ^{*6}	□ (9.5) ^{*6}			STS410 ^{*6}			
—	—	—	—	457.2 ^{*6}	□ (9.5) ^{*6}			STS410 ^{*6}			
—	—	—	—	457.2 ^{*6,*7}	□ (9.5) ^{*6,*7}			SM400C ^{*6,*7}			
—	—	—	—	457.2 ^{*6,*7}	□ (9.5) ^{*6,*7}			STS410 ^{*6,*7}			
1.18 ^{*4}	70	355.6	(11.1)	STS410 ^{*14}	変更なし						

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

変 更 前						変 更 後							
名 称	最高使用 圧 (MPa)	最高使用 温 (℃)	外 径*1 (mm)	厚 さ*2 (mm)	材 料	名 称	最高使用 圧 (MPa)	最高使用 温 (℃)	外 径*1 (mm)	厚 さ*2 (mm)	材 料		
*27 残留熱除去系熱交換器(B) 入口配管合流点 ～ 残留熱除去系熱交換器(B)	—					*5 残留熱除去系熱交換器(B)入 口配管合流点 ～ 残留熱除去系熱交換器(B)	*6 355.6 / 355.6 / 216.3 (11.1) / (11.1) / (8.2) STS410						
	1.18 *4	70	355.6	(11.1)	STS410*14		変更なし						
	—						*6 1.18	*6 70	*6, *7, *8 355.6	*6, *7, *8 (11.1)	*6, *7, *8 STS410		
*25 残留熱除去系熱交換器(B) ～ 残留熱除去系熱交換器(B) 出口配管分岐点	—					*5 残留熱除去系熱交換器(B) ～ 残留熱除去系熱交換器(B)出 口配管分岐点	*6, *7, *8 355.6 / 355.6 / 355.6 (11.1) / (11.1) / (11.1) STS42 STS410						
	1.18 *4	70	355.6	(11.1)	STS42*14 STS410		変更なし						
	—						*6 1.18	*6 70	*6, *7 457.2 / 355.6	*6, *7 (9.5) / (11.1)	*6, *7 STS410		
	1.18 *4	70	457.2	□*10(9.5)	SM400C*13		変更なし						
*25 残留熱除去系熱交換器(B) 出口配管分岐点 ～ 原子炉補機冷却水サージ タ ンク(B)出口配管合流点 (次頁へ続く)	—					*5 残留熱除去系熱交換器(B)出 口配管分岐点 ～ 原子炉補機冷却水サージ タ ンク(B)出口配管合流点 (次頁へ続く)	*6 457.2 / 457.2 / 267.4 (9.5) / (9.5) / (9.3) SM400C						
	1.18 *4	70	457.2	□*10(9.5)	SM400C*13		*6 1.18	*6 70	*6 457.2 / 457.2 / 216.3 *6 (9.5) / (9.5) / (8.2)	*6 (9.5) / (9.5) / (8.2)	*6 STS410		
変更なし						変更なし							
—						*6, *7, *8 457.2 / □(9.5) SM400C							
—						*6 1.18						*6 70	*6 508.0 / 457.2 (9.5) / (9.5) STS410

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

変更前						変更後						
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料	
(前頁からの続き) 残留熱除去系熱交換器(B) 出口配管分岐点 ～ 原子炉補機冷却水サージタンク(B) 出口配管合流点	1.18 *4	70	508.0	□ *10 (9.5)	SM41C*13 SM400C	(前頁からの続き) 残留熱除去系熱交換器(B) 出口配管分岐点 ～ 原子炉補機冷却水サージタンク(B) 出口配管合流点	変更なし					
							1.18 *6	70 *6	508.0 / 508.0 / 216.3	□ (9.5) / □ (9.5) / □ (8.2)	□ (9.5) / □ (9.5) / □ (8.2)	STS410
	1.18 *4	70	609.6	□ *10 (9.5)	SM41C		1.18 *6	70 *6	508.0 / 508.0 / 609.6 / 508.0	□ (9.5) / □ (9.5) / □ (9.5) / □ (9.5)	□ (9.5) / □ (9.5) / □ (9.5) / □ (9.5)	STS410 SM400C SM41C
原子炉補機冷却水系						原子炉補機冷却水系	変更なし					
							1.18 *6	70 *6	609.6 / 609.6 / 457.2	□ (9.5) / □ (9.5) / □ (9.5)	□ (9.5) / □ (9.5) / □ (9.5)	SM41C
	1.18 *4	70	216.3	(8.2)	STS410*14		1.18 *6	70 *6	216.3 / 216.3 / 216.3	(8.2) / (8.2) / (8.2)	(8.2) / (8.2) / (8.2)	STS410
*28 原子炉補機冷却水系熱交換器(B), (D) 出口配管分岐点2 ～ 非常用ディーゼル発電設備(B) 機関付空気冷却器						変更なし	変更なし					
							1.18 *6	70 *6	216.3 / 216.3 / 216.3	(8.2) / (8.2) / (8.2)	(8.2) / (8.2) / (8.2)	STS410
	1.18 *4	70	139.8	(6.6)	STS410*14		1.18 *6	70 *6	216.3 / 139.8	(8.2) / (6.6)	(8.2) / (6.6)	STS410
							変更なし					
						1.18 *6	70 *6	139.8	(6.6)	(6.6)	STS410	

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

変 更 前						変 更 後					
名 称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ*2 (mm)	材 料	名 称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ*2 (mm)	材 料
原子炉補機冷却水系 非常用ディーゼル発電設備 (B)機関付空気冷却器 ～ 非常用ディーゼル発電設備 (B)潤滑油冷却器	1.18 *4	70	139.8	(6.6)	STS410*14	原子炉補機冷却水系 変更なし	変更なし				
							1.18 *6	70 *6	*6, *7, *8 139.8	*6, *7, *8 (6.6)	*6, *7, *8 STS42 STS410
									*6, *7 216.3 /	*6, *7 (8.2) /	*6, *7 STS410
									*6, *7 139.8 /	*6, *7 (6.6) /	*6, *7 STS410
									*6, *7 216.3 /	*6, *7 (8.2) /	*6, *7 STS410
					変更なし						
1.18 *4	70	216.3	(8.2)	STS410*14	1.18 *6	70 *6	*6, *7, *8 216.3	*6, *7, *8 (8.2)	*6, *7, *8 STS410		
					変更なし						
非常用ディーゼル発電設備 (B)潤滑油冷却器 ～ 非常用ディーゼル発電設備 (B)清水冷却器	1.18 *4	70	216.3	(8.2)	STS410*14	原子炉補機冷却水系 変更なし	変更なし				
							1.18 *6	70 *6	*6, *7, *8 216.3	*6, *7, *8 (8.2)	*6, *7, *8 STS410
					変更なし						
*29 非常用ディーゼル発電設備 (B)清水冷却器 ～ 原子炉補機冷却水ポンプ (B), (D)入口配管合流点2	1.18 *4	70	216.3	(8.2)	STS410*14	原子炉補機冷却水系 変更なし	変更なし				
							1.18 *6	70 *6	*6, *7, *8 216.3	*6, *7, *8 (8.2)	*6, *7, *8 STS410
									*6, *7 216.3 /	*6, *7 (8.2) /	*6, *7 STS410
					*6, *7 216.3 /	*6, *7 (8.2) /			*6, *7 STS410		
					変更なし						
*30 原子炉補機冷却水系熱交換器 (B), (D)出口配管分岐点3 ～ 燃料プール冷却浄化系熱交換器 (B)入口配管合流点	1.18 *4	70	267.4	(9.3)	STS42*14 STS410	変更なし					
						1.18 *6	70 *6	*6 267.4	*6 (9.3)	*6 STS410	
					*6 /			*6 /	*6 STS410		
					*6 /	*6 /	*6 /	*6 /	*6 /		
					*6 267.4	*6 (9.3)	*6 STS410				
					変更なし						
*30 燃料プール冷却浄化系熱交換器 (B)入口配管合流点 ～ 燃料プール冷却浄化系熱交換器 (B) (次頁へ続く)						1.18 *6	70 *6	*6 267.4	*6 (9.3)	*6 STS410	
								*6 /	*6 /	*6 /	*6 /
					*6 /	*6 /	*6 /	*6 /	*6 /		
					*6 267.4	*6 (9.3)	*6 STS410				
					変更なし						

変 更 前						変 更 後							
名 称	最高使用 圧 (MPa)	最高使用 度 (℃)	外 径*1 (mm)	厚 さ*2 (mm)	材 料	名 称	最高使用 圧 (MPa)	最高使用 度 (℃)	外 径*1 (mm)	厚 さ*2 (mm)	材 料		
(前頁からの続き)	1.18 *4	70	267.4	(9.3)	STS410*14	(前頁からの続き)	変更なし						
燃料プール冷却浄化系熱交換器(B)入口配管合流点 ～ 燃料プール冷却浄化系熱交換器(B)	—					燃料プール冷却浄化系熱交換器(B)入口配管合流点 ～ 燃料プール冷却浄化系熱交換器(B)	*6	*6	*6, *7 267.4 / — / 165.2	*6, *7 (9.3) / — / (7.1)	*6, *7 STS410		
	1.18 *4	70	165.2	(7.1)	STS410*14		変更なし						
	—						*6	*6	*6, *7, *8 1.18	*6, *7, *8 70	*6, *7, *8 165.2	*6, *7, *8 (7.1)	*6, *7, *8 STS410
燃料プール冷却浄化系熱交換器(B) ～ 原子炉補機冷却水ポンプ(B), (D)入口配管合流点1	—					燃料プール冷却浄化系熱交換器(B) ～ 原子炉補機冷却水ポンプ(B), (D)入口配管合流点1	*6	*6	*6, *7, *8 1.18	*6, *7, *8 70	*6, *7, *8 165.2	*6, *7, *8 (7.1)	*6, *7, *8 STS410
	—						変更なし						
	1.18 *4	70	165.2	(7.1)	STS410*14		*6	*6	*6, *7 1.18	*6, *7 70	*6, *7 267.4 / — / 165.2	*6, *7 (9.3) / — / (7.1)	*6, *7 STS410
	—						*6, *7, *8	*6, *7, *8	*6, *7, *8 267.4	*6, *7, *8 (9.3)	*6, *7, *8 STS410		
原子炉補機冷却水系熱交換器(B), (D)出口配管分岐点1 ～ P42-F091B	1.18 *4	70	406.4	*10(12.7)	SM41C	変更なし							
			406.4	*10(9.5)	SM41C								
			318.5	(10.3)	STS42								

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

変更前						変更後						
名 称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ*2 (mm)	材 料	名 称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ*2 (mm)	材 料	
原子炉補機冷却水系	*32 P42-F091B ～ 原子炉冷却材浄化系非再生熱交換器(B)	1.18 *4	70	406.4	<input type="text" value=""/> ^{*10} (9.5)	SM41C	原子炉補機冷却水系	変更なし ^{*20}				
				216.3	(8.2)	STPT38						
	原子炉冷却材浄化系非再生熱交換器(B)連絡管	1.18 *4	85	216.3	(8.2)	STPT38		変更なし ^{*20}				
				216.3	(8.2)	STPT38 ^{*22} STPT370						
	*33 原子炉冷却材浄化系非再生熱交換器(B) ～ P42-F092B	1.18 *4	70	216.3	(8.2)	STPT38		変更なし ^{*20}				
				267.4	(9.3)	STPT38						
				355.6	(11.1)	STPT38						
				355.6	<input type="text" value=""/> ^{*10} (11.1)	SM41C						
				406.4	<input type="text" value=""/> ^{*10} (9.5)	SM41C						
	*34 原子炉冷却材浄化系非再生熱交換器(B)入口配管分岐点 ～ 排ガス復水器	1.18 *4	70	406.4	<input type="text" value=""/> ^{*10} (9.5)	SM41C		変更なし ^{*20}				
267.4				<input type="text" value=""/> ^{*10} (9.3)	SM41C							
267.4				(9.3)	STPT38 ^{*22} STPT370							
*35 排ガス復水器 ～ 原子炉冷却材浄化系非再生熱交換器(B)出口配管合流点	1.18 *4	70	216.3	(8.2)	STPT38	変更なし ^{*20}						
			267.4	(9.3)	STPT38							
*33 P42-F092B ～ 原子炉補機冷却水ポンプ(B), (D)入口配管合流点3	1.18 *4	70	406.4	<input type="text" value=""/> ^{*10} (9.5)	SM41C	変更なし						
*36 床ドレン・化学廃液蒸発濃縮装置復水器入口配管分岐点 ～ 固化系復水器	1.18 *4	70	114.3	(6.0)	STPT38 ^{*22} STPT370	— ^{*37}						
			60.5	(5.5)	STPT38							
*38 固化系復水器 ～ 床ドレン・化学廃液蒸発濃縮装置復水器出口配管合流点	1.18 *4	70	60.5	(5.5)	STPT38	— ^{*37}						
114.3	(6.0)	STPT38 ^{*22} STPT370										

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

変 更 前						変 更 後					
名 称	最高使用 圧 (MPa)	最高使用 温 (℃)	外 径*1 (mm)	厚 さ*2 (mm)	材 料	名 称	最高使用 圧 (MPa)	最高使用 温 (℃)	外 径*1 (mm)	厚 さ*2 (mm)	材 料
*39 原子炉補機冷却海水ポンプ (A) ～ 原子炉補機冷却海水系スト レーナ(A)	0.78 *4	50	508.0	□ *10 (9.5)	SM41C *13 SM400C	変更なし	変更なし				
							*6, *7 508.0 / 508.0 / 508.0	*6, *7 □ (9.5) / □ (9.5) / □ (9.5)	*6, *7 SM400C		
*40 原子炉補機冷却海水系スト レーナ(A) ～ 原子炉補機冷却水系熱交換 器(A)	0.78 *4	50	508.0	□ *10 (9.5)	SM41C	変更なし	変更なし				
					*6, *7, *8 508.0		*6, *7, *8 □ (9.5)	*6, *7, *8 SM41C			
*41 原子炉補機冷却水系熱交換 器(A) ～ 放水槽	0.78 *4	50	508.0	□ *10 (9.5)	SM41C *13 SM400C	変更なし	変更なし				
					*6, *7, *8 508.0		*6, *7, *8 □ (9.5)	*6, *7, *8 SM41C SM400C			
*39 原子炉補機冷却海水ポンプ (C) ～ 原子炉補機冷却海水系スト レーナ(C)	0.78 *4	50	508.0	□ *10 (9.5)	SM41C *13 SM400C	変更なし	変更なし				
							*6, *7 508.0 / 508.0 / 508.0	*6, *7 □ (9.5) / □ (9.5) / □ (9.5)	*6, *7 SM400C		
*40 原子炉補機冷却海水系スト レーナ(C) ～ 原子炉補機冷却水系熱交換 器(C)	0.78 *4	50	508.0	□ *10 (9.5)	SM41C	変更なし	変更なし				
					*6, *7, *8 508.0		*6, *7, *8 □ (9.5)	*6, *7, *8 SM41C			
*41 原子炉補機冷却水系熱交換 器(C) ～ 放水槽	0.78 *4	50	508.0	□ *10 (9.5)	SM41C *13 SM400C	変更なし	変更なし				
					*6, *7, *8 508.0		*6, *7, *8 □ (9.5)	*6, *7, *8 SM41C SM400C			

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

変 更 前						変 更 後						
名 称	最高使用 圧 (MPa)	最高使用 温 (℃)	外 径*1 (mm)	厚 さ*2 (mm)	材 料	名 称	最高使用 圧 (MPa)	最高使用 温 (℃)	外 径*1 (mm)	厚 さ*2 (mm)	材 料	
原子炉補機冷却海水系	*3 原子炉補機冷却海水ポンプ (A)出口配管分岐点 ～ 原子炉補機冷却海水ポンプ (C)出口配管合流点	0.78 *4	50	508.0	□ (9.5)	SM400C	変更なし	変更なし				
	*39 原子炉補機冷却海水ポンプ (B) ～ 原子炉補機冷却海水系スト レーナ(B)	0.78 *4	50	508.0	□ *10 (9.5)	SM41C *13 SM400C	変更なし	変更なし				
		—						*6, *7 508.0	□	*6, *7 (9.5)	*6, *7 SM400C	
								*6 0.78		*6 50		508.0
	—					*6, *7, *8 508.0	□	*6, *7, *8 (9.5)	*6, *7, *8 SM41C SM400C			
						—					*6, *7, *8 508.0	□
	*40 原子炉補機冷却海水系スト レーナ(B) ～ 原子炉補機冷却海水系熱交換 器(B)	0.78 *4	50	508.0	□ *10 (9.5)						SM41C	
	—					*6 0.78	*6 50	*6, *7, *8 508.0	□	*6, *7, *8 (9.5)	*6, *7, *8 SM41C	
						—					*6 0.78	*6 50
	*41 原子炉補機冷却海水系熱交換 器(B) ～ 放水槽	0.78 *4	50	508.0	□ *10 (9.5)						SM41C *13 SM400C	変更なし
—					*6, *7 508.0	□	*6, *7 (9.5)	*6, *7 SM400C				
					*6 0.78		*6 50		508.0	(9.5)		
					—					*6, *7, *8 508.0	□	*6, *7, *8 (9.5)
—										*6, *7, *8 508.0		□
					*39 原子炉補機冷却海水ポンプ (D) ～ 原子炉補機冷却海水系スト レーナ(D)	0.78 *4	50	508.0	□ *10 (9.5)	SM41C *13 SM400C	変更なし	
—					*6, *7 508.0	□	*6, *7 (9.5)	*6, *7 SM400C				
					*6 0.78		*6 50		508.0	(9.5)		
					—					*6, *7, *8 508.0	□	*6, *7, *8 (9.5)
—										*6, *7, *8 508.0		□

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

変更前						変更後						
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料	
原子炉補機冷却海水系	*40 原子炉補機冷却海水系ストレーナ(D) ～ 原子炉補機冷却水系熱交換器(D)	0.78 *4	50	508.0	□ *10 (9.5)	SM41C	原子炉補機冷却海水系	変更なし				
	*41 原子炉補機冷却水系熱交換器(D) ～ 放水槽	0.78 *4	50	508.0	□ *10 (9.5)	SM41C *13 SM400C		*6	*6	*6, *7, *8	□ *6, *7, *8 (9.5)	*6, *7, *8 SM41C SM400C
	*3 原子炉補機冷却海水ポンプ(B)出口配管分岐点 ～ 原子炉補機冷却海水ポンプ(D)出口配管合流点	0.78 *4	50	508.0	□ (9.5)	SM400C	変更なし					
							変更なし					

注記*1 : 外径は公称値を示す。

*2 : ()内は公称値を示す。

*3 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*4 : S I 単位に換算したものである。

*5 : 原子炉補機冷却設備 (原子炉補機代替冷却水系) と兼用。

*6 : 重大事故等クラス2配管に使用する場合の記載事項。

*7 : 本設備は既存の設備である。

*8 : エルボを示す。

*9 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「残留熱除去系熱交換器(A)から原子炉補機冷却水ポンプ(A)・(C)まで(原子炉補機冷却水ポンプ(A)・(C)入口配管)」と記載。

*10 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成3年6月19日付け3資庁第1003号にて認可された工事計画の添付書類「IV-2-1-7-3 管の強度計算書」による。

*11 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「原子炉補機冷却水ポンプ(A)・(C)から原子炉補機冷却水系熱交換器(A)・(C)まで」と記載。

*12 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「原子炉補機冷却水系熱交換器(A)・(C)から残留熱除去系熱交換器(A)まで(原子炉補機冷却水系熱交換器(A)・(C)出口配管)」と記載。

*13 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「SM41C」と記載。

*14 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「STS42」と記載。

*15 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「原子炉補機冷却水系熱交換器(A)・(C)出口配管から非常用ディーゼル発電設備(A)機関付空気冷却器まで」と記載。

*16 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「非常用ディーゼル発電設備(A)清水冷却器から原子炉補機冷却水ポンプ(A)・(C)入口配管まで」と記載。

*17 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「原子炉補機冷却水系熱交換器(A)・(C)出口配管から燃料プール冷却浄化系熱交換器(A)まで」と記載。

*18 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「燃料プール冷却浄化系熱交換器(A)から原子炉補機冷却水ポンプ(A)・(C)入口配管まで」と記載。

*19 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「原子炉補機冷却水系熱交換器(A)・(C)出口配管から原子炉冷却材浄化系非再生熱交換器(A)まで(原子炉冷却材浄化系非再生熱交換器(A)入口配管)」と記載。

*20 : 本設備は記載の適正化を行うものであり、手続き対象外である。

*21 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「原子炉冷却材浄化系非再生熱交換器(A)から原子炉補機冷却水ポンプ(A)・(C)入口配管まで(原子炉冷却材浄化系非再生熱交換器(A)出口配管)」と記載。

*22 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「STPT38」と記載。

*23 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「原子炉冷却材浄化系非再生熱交換器(A)入口配管から床ドレン・化学廃液蒸発濃縮装置復水器まで(床ドレン・化学廃液蒸発濃縮装置復水器入口配管)」と記載。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

- *24：記載の適正化を行う。既工事計画書には「床ドレン・化学廃液蒸発濃縮装置復水器から原子炉冷却材浄化系非再生熱交換器(A)出口配管まで(床ドレン・化学廃液蒸発濃縮装置復水器出口配管)」と記載。
- *25：記載の適正化を行う。既工事計画書には「残留熱除去系熱交換器(B)から原子炉補機冷却水ポンプ(B)・(D)まで(原子炉補機冷却水ポンプ(B)・(D)入口配管)」と記載。
- *26：記載の適正化を行う。既工事計画書には「原子炉補機冷却水ポンプ(B)・(D)から原子炉補機冷却水系熱交換器(B)・(D)まで」と記載。
- *27：記載の適正化を行う。既工事計画書には「原子炉補機冷却水系熱交換器(B)・(D)から残留熱除去系熱交換器(B)まで(原子炉補機冷却水系熱交換器(B)・(D)出口配管)」と記載。
- *28：記載の適正化を行う。既工事計画書には「原子炉補機冷却水系熱交換器(B)・(D)出口配管から非常用ディーゼル発電設備(B)機関付空気冷却器まで」と記載。
- *29：記載の適正化を行う。既工事計画書には「非常用ディーゼル発電設備(B)清水冷却器から原子炉補機冷却水ポンプ(B)・(D)入口配管まで」と記載。
- *30：記載の適正化を行う。既工事計画書には「原子炉補機冷却水系熱交換器(B)・(D)出口配管から燃料プール冷却浄化系熱交換器(B)まで」と記載。
- *31：記載の適正化を行う。既工事計画書には「燃料プール冷却浄化系熱交換器(B)から原子炉補機冷却水ポンプ(B)・(D)入口配管まで」と記載。
- *32：記載の適正化を行う。既工事計画書には「原子炉補機冷却水系熱交換器(B)・(D)出口配管から原子炉冷却材浄化系非再生熱交換器(B)まで(原子炉冷却材浄化系非再生熱交換器(B)入口配管)」と記載。
- *33：記載の適正化を行う。既工事計画書には「原子炉冷却材浄化系非再生熱交換器(B)から原子炉補機冷却水ポンプ(B)・(D)入口配管まで(原子炉冷却材浄化系非再生熱交換器(B)出口配管)」と記載。
- *34：記載の適正化を行う。既工事計画書には「原子炉冷却材浄化系非再生熱交換器(B)入口配管から排ガス復水器まで」と記載。
- *35：記載の適正化を行う。既工事計画書には「排ガス復水器から原子炉冷却材浄化系非再生熱交換器(B)出口配管まで」と記載。
- *36：記載の適正化を行う。既工事計画書には「床ドレン・化学廃液蒸発濃縮装置復水器入口配管から固化系復水器まで」と記載。
- *37：記載の適正化を行う。本設備は設計基準対象施設として工事計画書の記載範囲外となるものである。
- *38：記載の適正化を行う。既工事計画書には「固化系復水器から床ドレン・化学廃液蒸発濃縮装置復水器出口配管まで」と記載。
- *39：記載の適正化を行う。既工事計画書には「原子炉補機冷却海水ポンプから原子炉補機冷却海水系ストレーナまで」と記載。
- *40：記載の適正化を行う。既工事計画書には「原子炉補機冷却海水系ストレーナから原子炉補機冷却水系熱交換器まで」と記載。
- *41：記載の適正化を行う。既工事計画書には「原子炉補機冷却水系熱交換器から放水槽へ」と記載。